



●この容器は、水を加えてかき混ぜられるよう、多少大きめにつくってあります。
●表示している色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。

防虫	防腐
防カビ	防藻
撥水	UVカット
標準塗り面積(1回塗り)	
22~30㎡ タタミ14~18枚分	
古材などの吸い込みが激しい場合	
15~21㎡ タタミ9~13枚分	
乾燥時間	
夏期/約2時間 冬期/約4時間	
塗り重ね時間の目安	
夏期/1~3時間 冬期/2~5時間	
塗りにくいときは	
水 (5%以内) でうすめて下さい	

注意書きをよく読んでから
使用して下さい。

汚れて色あせた 木部もきれいに仕上がる

リフォーム塗り替えに最適
水性 ウッドリフォームペイント

3L



1回塗り
用途
屋内外の木部・木製品
ログハウス・ウッドデッキ
戸・木扉・雨戸・羽目板・板壁
ラティス・ガーデン木製品
家具・窓枠・工作品など

鉛 無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

商品名 水性ウッドリフォームペイント **品名** 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(アクリル・ウレタン)、顔料、防カビ剤、防腐剤、防虫剤、
防藻剤、撥水剤、紫外線吸収剤、水

特長
●水性で塗りやすく、低臭タイプの木部保護塗料です。
●1回塗りで、隠ぺい性が高いので、汚れて色あせた木部もきれいに仕上がり、
リフォーム塗り替えに最適です。
●紫外線吸収剤、撥水剤、防カビ剤、防藻剤、防腐剤配合で木部を劣化から守ります。

用途
●ウッドデッキ、木塀(板塀)、笠木、羽目板、戸袋、バルコニー、木戸、家具、窓枠、工作品
などの木部全般
●ラティス、トレリス、フェンス、ベンチなどの木製ガーデンニング製品
※古い木材や旧塗膜のある木材の場合は、下地処理後に塗装できます。必ず下
地処理後に塗装して下さい。※絶えず水がかかったり、いつも湿っているところ、
また室内の床面には適しません。

塗装方法
①下記下地処理の注意に従って、塗装する木材表面の下地処理をおこないます。
下地処理後はよく乾かしてから、塗装して下さい。
②塗料がついて困るところは、マスキングします。(塗料は浸透しますので、マス
キングテープの端から塗料がにじむことがあります)塗料が付いた場合は、水
ですぐに拭き取ります。
③フタを開ける前に、容器をよく振り塗料をよく混ぜます。フタに手をそえてマイナス
ドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一に
します。(顔料などが沈んでいる場合がありますので、底からよくかき混ぜます)。
④ニスステイン用ハケを使って、木目に沿って塗っていきます。
●塗りにくい場合や、泡がのこる場合などは、水で少しうすめます。(5%以下が
目安です)
●ウッドデッキのような広くて平らな面を塗装する場合には、コテバケを使うとは
やくきれいに塗装できます。
⑤塗り終わったら、すぐにマスキングテープをはがします。
⑥塗装後1日以上充分に乾燥させます。水がかかったり、雨や結
露などによって、塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は、半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法
使用した用具は乾かないうちに、新聞紙かボロ布でできるだけ塗料を拭き取り、水
が濡で洗って下さい。

下地処理の注意 塗膜のハガレ防止のため以下の処理をして下さい。
①ゴミ、ホコリを充分に拭き取ります。泥、サビ、カビ、苔、藻などの汚れはナイロン
ブラシ、ナイロンタワシなどで水洗いし、よく乾かします。②ヤニや油分が多い場合
は、ラッカーうすめ液で拭き取り、よく乾かします。③木材表面が劣化している場合
は、ナイロンブラシ、ナイロンタワシ、デッキブラシなどで水洗いし、できるだけ表
面層を除去して、よく乾かします。④他の塗料が塗装されている場合は、旧塗膜を
サンドペーパー、電動サンダーなどで充分に取りのぞきます。⑤木材表面が硬く、
塗料が浸透しにくい木材の場合は、サンドペーパーなどで目荒らしをおこなうと
塗料の付きが良くなります。⑥木材表面がザラザラしているときは、サンドペ
ーパー(#280~#320)を木目に沿ってかけておくと、滑らかに仕上がります。

取扱い上の注意
①表示の用途以外に使用しないで下さい。塗料がすでに塗られている面や吸い込
みがない化粧合板には適しません。②食器など、口や食品に直接触れるものには
塗らないで下さい。③犬小屋や鳥かご、その他ペットがなめたり、かじったりするよ
うな木部には塗らないで下さい。④体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感
な人は使用しないで下さい。⑤目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しな
いよう注意して取扱って下さい。⑥塗料がついても支障がない服装で作業して下
さい。⑦塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下
さい。また塗装中、乾燥中ともに5℃以下になるときは塗らないで下さい。⑧塗装
中、乾燥中とも換気を良くし、その後も塗料の臭いなくなるまでは、ときどき換
気をして下さい。⑨塗料のかくはんが不足した場合、塗料が均一にならず、隠ぺい
や着色が不十分になります。⑩色の濃い木材に明るい色を塗装した場合や、塗料
が浸透しにくい木材の場合や、うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、下地の色が透
ける場合があります。その場合は2回塗りして下さい。⑪木材の種類、状態によっ
て適切な素地調整をおこない、塗装方法に従って塗装して下さい。⑫塗装する木
材の色や吸い込みの割合によって仕上がりの色・乾燥性などが大きく左右されま
すので、あらかじめ目立たない部分、または同種の木材で試し塗りをして、仕上り
の色・乾燥性などを確かめてから塗って下さい。⑬防腐剤や防虫剤が塗布や注入さ
れた木材に塗装した場合、薬剤によっては塗装や仕上がりに悪影響を与える場合
がありますので注意して下さい。⑭塗り面積・乾燥時間・着色力・色相などは、素材
・塗布量・下地・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑮塗装面が雨などでぬ
れている場合や、はき物の種類によっては歩行の際に滑りやすくなることがありま
すので、充分に注意して下さい。⑯表示の色は印刷のため、実際の色と多少異なり
ます。⑰塗装したウッドデッキ面などに、塩化ビニル製品(子供用プールやマットな
ど)を直接置いた場合、塗装面に跡が付くなどの悪影響を及ぼす場合があります。
⑱容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。やむを得ず塗料を捨てるときは、ア
サヒペン水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に
乾かしてから捨てて下さい。

保管上の注意
①幼児の手の届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように
注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車
内などの高温になるところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとフタ
をして保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

危険		●遺伝性疾患のおそれ ●水生生物に非常に強い毒性
救急処置		●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察 を受けて下さい。 ●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 ●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場 所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。 ●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変 化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。